



たのかと思った。
同病院は1953年に開業。91年
から13年間かけて病院棟などの全面
改築工事を実施した。基本計画では
駐車スペースだった場所に、駐車場
を立体式にするなどして約5000
平方㍍のスペースを確保。そこに、

関西労災病院(尼崎市稻葉荘3)
に昨春、一年じゅう四季折々の花が
咲くホスピタルパーク「いぶきの園」
が誕生した。

県道尼崎宝塚線(尼宝線)から西

に向かってレンガ敷きの通路を進
み、病院名の入った鉄製アーチをく
ぐり抜けると、左側に庭園が広がる。
私は以前の労災病院も知っているの
で、改築後の姿を見て病院を間違え
たのかと思った。

に昨春、一年じゅう四季折々の花が
咲くホスピタルパーク「いぶきの園」
が誕生した。

病院としては日本初となる本格的な
庭園を造った。



写真・文 山田哲也

□□□13

関西労災病院・いぶきの園

ウメイギクなどが色鮮やかな花を咲
かせている。庭の手入れは阪神間住
住のボランティア44人が当たる。

車椅子のままで草花に近づける
ように花壇を高くしたり、リハビリ
にも使えるよう手すりも設置。患者
や見舞客はもとより、昆虫採集の小
学生、子ども連れの主婦らも訪れる
癒やしと安らぎの場となつた。

JR立花駅か阪急武庫之荘駅から
市営バスで労災病院前下車。開園時
間は平日が午前7時～午後7時。土
日・祝日は午前8時～午後5時(季
節により時間が変わることがある)。
問い合わせは同病院(06・6416
1221)。

園芸療法士が常駐。心身に病やハンディを持つ人に、植物との触れ合いを通じて治療やリハビリを行う「園芸療法」も施されている。

日本初の本格的ホスピタルパーク

